

ICT 活用事例集

Information &
Communication Technology

教授用資料



COMMUNICATION



数研出版

Contents

- 数学・理科 オススメ活用法 p2, 3
- 活用事例／数学 | 大阪青凌中学校・高等学校 p4, 5
- 活用事例／数学 | 東京都立狛江高等学校 p6, 7
- 活用事例／理科 | サレジオ学院中学校・高等学校 p8, 9
- 英語・国語 オススメ活用法 p10, 11
- 活用事例／英語 | 八王子学園八王子中学校・高等学校 p12, 13
- 活用事例／国語 | 北陸学院中学校・高等学校 p14, 15

TECHNOLOGY



INFORMATION





大阪府
私立

大阪青凌 中学校・高等学校

ICT活用事例

iPad導入以来5年ほど経過。中学生・高校生ともにiPadを所持して、学習者用デジタル教科書・デジタル教材を学校や自宅で利用している。また、指導者用デジタル教科書も利用していて、主に授業中に教材内容をプロジェクタや電子黒板で提示しているが、その一方、紙の教材やプリントも併用している。

POINT 1

指導者用デジタルにより、教材内容を提示

POINT 2

学習者用デジタルは、日常の道具として利用



先生への
インタビュー

島田耕一 教諭
有本真理子 教諭 / 数学I・中学数学 /

使用しているICT教材・端末



数学I

3TRIAL
数学I+A3TRIAL
数学I+A

iPad

指導者用

学習者用



授業動画・詳しいインタビュー内容を公開中!

Q. エスピュア（指導者用）の
利用場面は？

A. 主に教材内容を提示するのに利用しています。特に、図がある場合には板書するのに時間がかかるつていましたが、エスピュアを利用することで、すぐに提示できるようになりました。そこで時間短縮することと、解説をより丁寧にして、さらに机間指導を増やすことができています。

Q. 生徒はiPadを
どのように使っている？

A. 特別な道具としてではなく、スマートフォンの延長のように日常的な持ち物として使っています。エスピュア（学習者用）も導入していますが、紙のノートに書くかわりに、エスピュアに書き込むことが多いようです。エスピュアは学校でも自宅でも利用機会があります。

Q. これからエスピュアを使う
先生へ、おすすめの使い方は？

A. 教材内容を提示することに使うのがおすすめです。学習内容の提示はデジタル教科書にまかせることで時間を作り出すことができ、その問題で学ぶべきことを生徒に投げかけて、「生徒と一緒に考える」授業がしやすくなります。特に、図のある問題を説明するときに有効です。

SCENE
01

教材内容の提示

スライドビュー ※図や問題の拡大表示機能



ディスプレイタイプの電子黒板を利用する教室と、「プロジェクタからホワイトボードへの投影」を行う教室がある。

前者では指導者のiPadをHDMIケーブルにより電子黒板に接続し、後者ではiPadとプロジェクタを無線接続して、エスピュアを利用している。また、生徒のiPadとプロジェクタを無線接続して生徒の考察内容を共有し、それをもとに教員が解説する、といった機会もある。

中学の授業では、事前にエスピュアに授業のポイントや補足を書き込んでおき、それを授業中に適宜提示して生徒に説明している。

授業準備を行った状態で学習内容を提示することにより、授業の進行がスムーズになり、板書する時間を短縮することもできる。それにより、**生徒のようすを観察する時間を確保できるようになった**ことは大きい。

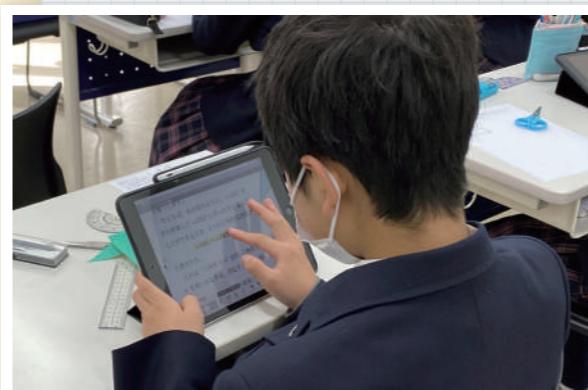
プロジェクタからホワイトボードへ投影する場合には、中央1/3程度の領域に紙面や問題を投影して、ホワイトボードマーカーで書き込みを行っている。この方式でも板書する時間を短縮することができ、短縮した時間を利用して教材に記載している内容の行間を補足する、といったことも行えるため、授業内容を深めることができる。また、「スライドビュー」機能により、特定の問題を拡大表示する機会もある。生徒に「今、何について考えてほしいか」を伝えやすくなった。

いずれの使い方についても、「教材内容を提示して板書する時間を短縮し、それによって作り出した時間で授業内容を深める」という点は共通している。さまざまな機能があるデジタル教科書の利用方法としてはかなりシンプルなものであるが、多くの教員が効果を実感できる使い方であり、生徒も「今、考えるべきこと」を明確にできているようである。

SCENE
02

生徒のデジタル 教科書の利用

ペンツール



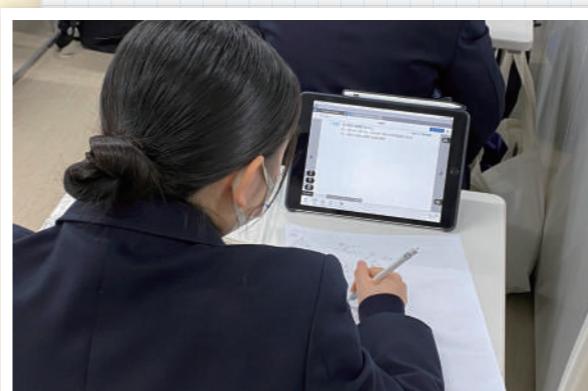
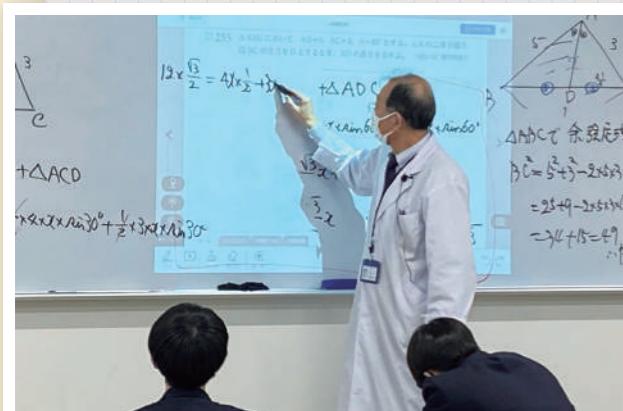
どの生徒もスマートフォンを使い、その延長としてiPadを利用するため、教員が時間をかけて使い方を教えることはなく、生徒自身がさまざまな使い方を見出している。「**思考過程を書き込む**」「**ホワイトボードに書かれた別解を写真に撮る**」といったことは、多くの生徒が行っている。

エスピュアは、学校でも自宅でも利用機会がある。「(問題集版などで)問題の解答がすぐに表示できる」機能があるが、自分で解答を調べる機会も必要なため、適宜紙の教材も利用して、生徒の学習習慣の確立にも配慮している。

エスピュアについては、教員が生徒から使い方を教わる機会が多い。逆に、教員が授業で使っている機能を見た生徒が、自分でも試してみる、ということもある。

SCENE
03

デジタルだけに傾注しない 学びのあり方



教員も生徒もiPadを持ち、エスピュアも使っているが、「すべての学びをデジタルで」とはしていない。

デジタル教材の広がりはあるとしても、テストは紙であり、「紙に手で書く」ことがなくなるわけではないため、その対策は必要になる。数学では「図を手書きできること」が重要であり、そういう機会は残すようにしている。

また、折り紙を使って考える、といったこともあるが、**デジタル教科書の利用によって効率化した分、作業しながら考える時間を作り出せている**。

「デジタルを使わない場面もあるが、それが実は、デジタルを利用した結果である」ともいえるだろう。





ICT活用事例

2022年より生徒が1人1台端末を所持しており、問題集(サクシード)は紙の教材とデジタル教材を併用している。ほとんどの教室にプロジェクタとスクリーンが設置されているため、教員用のタブレットPCを無線でプロジェクタに接続して授業を行うことができる。

POINT 1

デジタル化がもたらすスムーズでわかりやすい授業

POINT 2

豊富な機能で実現する教員の負担軽減

先生への
インタビュー

<< 杉木 周平 教諭 / 数学II /

指導者用 学習者用

使用しているICT教材・端末



数学II

学習者用
デジタル副教材
サクシード
数学II+B

[Windows]



授業動画・詳しいインタビュー内容を公開中!

Q. エスピュアを導入した効果は?

A. 問題や図などを板書する時間を省け
るため、別の活動に時間を費やすようにな
りました。授業開始10分間で小テストを行
ったり、もう1問多く問題を演習したりなど、
これまでより多くの問題を扱えるようにな
りました。

Q. コンテンツの使用場面・効果は?

A. 特に数学Iの2次関数の単元で、シミュレー
ーションコンテンツを頻繁に使用しました。グラフを
かく手間が省けることや、黒板では見せること
ができる動きを見せられるのが嬉しかったです。
生徒にも実際にコンテンツを触ってもらうことで、

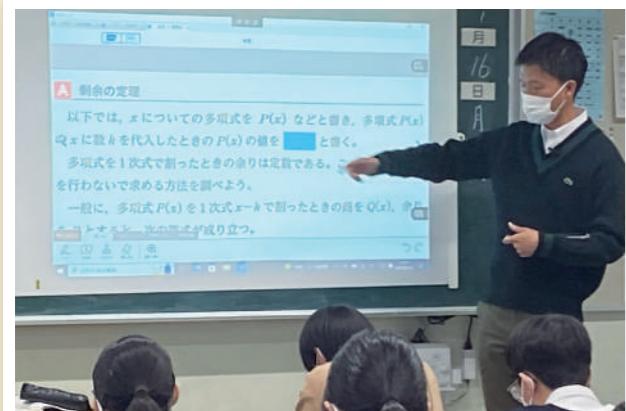
Q. エスピュアをこれからどう使っていきたい?

A. いまはまだ生徒が1人1台端末を使い始めて間
もないのですが、私たちも手探りで進めているような状況で
す。いまある機能に加えて、今後さらに便利な機能が
増えていくと思いますので、まずはそれを試して積極的
に使っていきたいと考えています。生徒の理解が深ま
るような使い方を、これからも探し続けていきたいです。

SCENE
01

講義

スライドビュー ※図や問題の拡大表示機能



「スライドビュー」を利用して、教科書紙面をスクリーンに投影
している。タブレットPCとプロジェクタは無線で接続されてい
るため、片手でタブレットPCを持ちながら授業を行うことが可
能である。

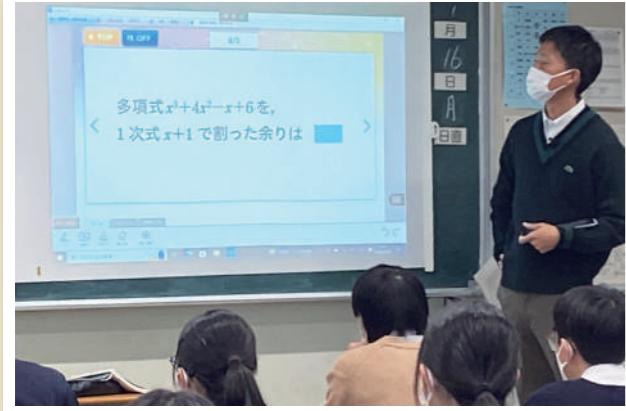
「スライドビュー」の利点は、**左右の矢印ボタン**で前後の要素
へ簡単に移動できるところである。これにより、流れを止める
ことなくスムーズに授業を進めることができる。

教科書の重要箇所にはふせんが貼られており、それをめくりな
がら説明を行っている。このふせんはあらかじめ貼られている
ため、事前準備は必要なく利用することができる。

SCENE
02

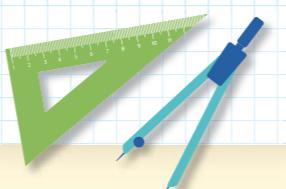
問題演習①

計算カード



「計算カード」のふせんモードを使い、フラッシュカード形式で
生徒に問題を出題している。生徒に考える時間を与えた後、ふ
せんをめくって答を表示している。**短い時間で基本的な内容
の確認をしたいときに役立つ**コンテンツである。

また入力モードでは、自動で正誤判定ができるため、生徒がスキマ時間を使って楽しく反復演習することもできる。

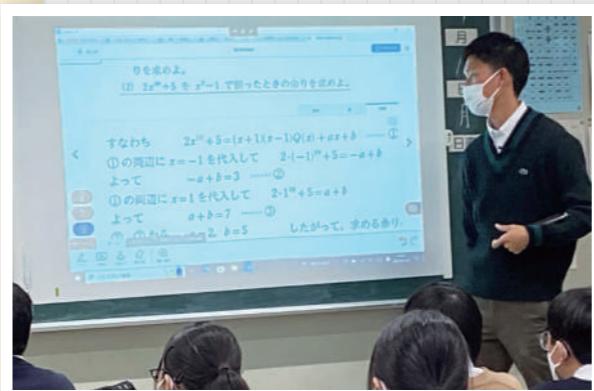
SCENE
03

問題演習②

スライドビュー



教材連携



「スライドビュー」を利用して、問題演習を行っている。問題を板
書する時間を省くことができるため、より多くの問題に取り組む
ようになった。答・詳解の表示をボタン1つで切り替えること
で、演習から答え合わせまで、**画面を切り替えずにスムーズに**
行うことができる。

また、教科書の問題を解き終わった生徒のために、「教材連携」
で問題集の類問を提示している。**わざわざ問題集を開いて問題
を探す手間が省ける**ため、非常に役立つ機能である。

SCENE
04

家庭学習

宿題管理



定期テスト前や長期休暇の際に、「宿題管理」で宿題を配信してい
る。生徒には、宿題を解いたノートの写真を自分の端末で撮影し、
それを提出するように指示している。

今までの、ノート回収→検印→ノート返却、という一連の作業は手
間であったが、「宿題管理」を利用すれば、すべて**デジタルで代替
できる**ので、**教員の負担が軽減**した。また、提出状況を一覧で確
認できるなど、デジタルならではのよいところもある。

*Studyaid*プリントやPDFも配信できるようなので、今後はいろ
いろなプリントを配信していきたい。



神奈川県
私 立

サレジオ学院 中学校・ 高等学校

2017年度より、全教員にPC端末、全生徒にChromebookを貸与、全教室に電子黒板機能付きプロジェクタ、無線LANを導入している。また、「Google Classroom」を活用し、オンラインによる課題や資料の共有や、クラスや科目ごとに分けた管理を行っている。

POINT 1

豊富なコンテンツによる直感的な理解の手助け

POINT 2

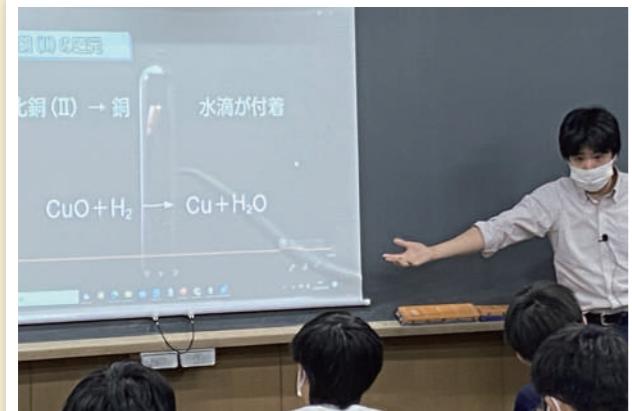
デジタル化で実現する効率的な授業

ICT活用事例

SCENE
01

講義

動画・PowerPoint



PC端末を電子黒板に無線接続し、「指導者用デジタル教科書」に収録されている実験動画や、教授資料付属の授業用スライドデータなどをスクリーンに投影している。補足説明などの書き込みは、電子黒板に付属しているインタラクティブペンを使用している。

化学では目に見えないミクロな世界の説明が多く、文章や図表だけで生徒に理解させることは難しい。

そこで、**エスピュア**に収録されている実験動画やアニメーションを電子黒板に投影して提示することで、**直感的に理解する手助けとなっている**。実験動画を一時停止したり繰り返し再生したりできるという、動画ならではの特性を活かしながらの解説が可能だ。準備の負担が大きく、危険を伴うような実験についても実験動画を活用することがある。

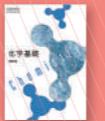
また、教授資料付属の授業用スライドデータ・プリントデータを利用することで、**授業準備や板書時間が大幅に削減され、教員の負担減少や、より詳しい説明などに役立っている**。スライドデータはPowerPoint形式、プリントデータはWord形式のファイルなので、既に自分で作成したデータに流用したり、必要に応じて指導する順番を変更したり、補足を追加したりするなどのカスタマイズが可能だ。



« 高木 俊輔 教諭 / 化学基礎 / 指導者用



使用しているICT教材・端末



指導者用
デジタル教科書
(教材)

化学基礎



[Windows]



先生への
インタビュー

6

Q. エスピュアを導入した決め手は?

A. 化学の内容は図や写真だけでは直感的に理解しにくい部分が多いのですが、**エスピュア**は実験動画やアニメーションなど視覚的に理解しやすいコンテンツが豊富に収録されている点がよかったです。実験操作や色の変化などを写真だけでなく動画でも見せられるので、生徒にも大変好評です。

Q. 導入の効果は?

A. 複数のクラスを担当していることもあります。デジタル教科書のほかに教授資料付属の授業用スライドデータなどを併用することで、板書する時間を減らしつつ複数のクラスで同じ内容を提示することができました。また、生徒の問い合わせや補足事項の説明に時間を使えるようになりました。

Q. 現在のICT教育の課題は?

A. 教員がデジタル教科書を使って提示するところは多々ありますが、生徒がデジタル教科書を使う習慣が未だ根付いていません。生徒にとっても紙よりもデジタルがよいこともあるでしょうから、もっと生徒がデジタル教科書を当たり前には活用する文化が根付いてほしいです。

SCENE

02

問題演習

スライドビュー ※図・写真や問題の拡大表示機能



問題演習をする際、**エスピュア**のスライドビュー機能で電子黒板に問題を提示している。また、生徒には教科書掲載の問題を一覧化したプリント(教授資料付属の「教科書テキストデータ」から抜粋したもの)を配布している。スライドビューは問題文だけでなく、解答・解説の表示をボタン一つで切り替えることができるので、板書時間の削減に役立っている。

SCENE

03

授業後の振り返り

授業の振り返り

Q. 名前は陰イオンから、記号は陰イオンから書く。
⇒基本的にそのままです。

Q. 授業が早く要点があまりまとめられなかった。
⇒割と丁寧なつもりなので、逆についていくスピードをアップしよう！

Q. とてもわかりやすかったです。
⇒よかったです。

Q. 実験の手順を把握しきれなかった。
⇒短時間だったからね。自分でプリントを読む時間をつくろう。

Q. 普遍に見えることが多すぎると思いました。
⇒覚えるべき知識も広いからね、がんばって！

Q. 今日の動画の塩化ナトリウムの電気伝導性を調べる実験で、水溶液と液体における変化を調べましたが、違いはあるのでしょうか？
⇒水溶液は水分子が沢山ある中にナトリウムイオンとか塩化物イオンが存在していて、液体の塩化ナトリウムには水分子は存在しておらず、ナトリウムイオンと塩化物イオンのみであるっていうところに違いがあります。

毎回の授業後の振り返りでは「Google フォーム™」を活用している。生徒には、「今日の授業の要約」、「今日の授業の不明点・質問・感想」、「今日の問題」などを提示し、回答してもらっている。生徒の不明点や質問などは、「Google Classroom」に教員が回答したQ&Aとして公開している。Q&Aはクラス全体に公開し、生徒たちがどのような点を疑問に思っているのかを共有することで、それぞれの知識・理解をアップデートできるようにしている。授業中や授業後に個別では質問しづらい生徒が多いので、その対応のため、という狙いもある。



授業動画・詳しいインタビュー内容を公開中！

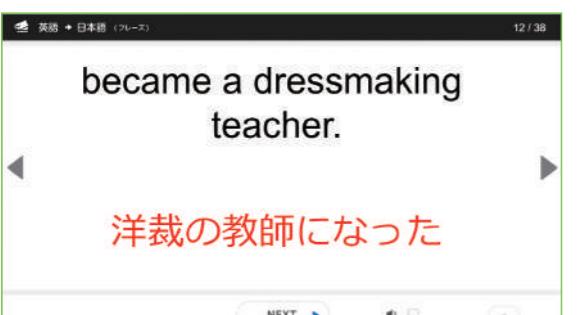
The image shows a screenshot of a mobile application for learning English. At the top, there's a green decorative bar with a QR code on the right. The main title "ENGLISH" is at the top center, with a checkmark icon. Below it is a large white circle containing three speech bubbles labeled "A", "B", and "C". To the right of the circle, the word "英語" (English) is written in large, bold, black kanji characters, with "(英語コミュニケーション)" in smaller text below it. To the right of "英語" is a button with a play icon and the text "詳しい 活用法動画は こちら！". Below the main title, there's a row of six green rectangular boxes containing the Japanese characters "オ", "ス", "ス", "メ", "活", and "用", which together form the word "オススメ活用法" (Recommended Usage Method). Below this row is a green bar with a small icon of two cards and the text "新出語フラッシュカード". A box on the left says "好みに合わせて詳細な設定ができます！" (You can set up according to your preferences!). Another box on the right says "単語を選択して効率的に学習" (Select words to learn efficiently). At the bottom, there are four examples of flashcards for the word "central". Each card has the word in English and its phonetic transcription in Japanese. The cards are arranged in a 2x2 grid. On the right side, there's a list of words with checkboxes, and a summary box showing "19 語 選択中" (19 words selected).

POINT 2 | ENGLISH

通訳トレーニング (指導者用デジタル教科書(教材)に搭載)

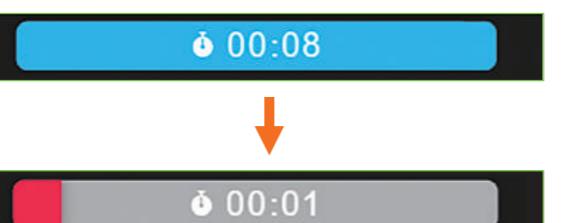
「その場で」訳すトレーニング！

教科書本文を制限時間内に訳す(話す)練習ができます。「英→日」「日→英」から選択でき、一度に訳す単位も「フレーズごと」「1文ごと」のいずれかを指定可能です。

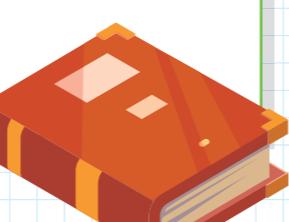


教室の雰囲気を活気づけたいときに

制限時間タイマーは画面上部にバーで表示され、タイムアップ直前には赤色に変わります。ゲーム的要素として授業を盛り上げるほか、活動の時間を区切って授業のペースを保つにも役立ちます。



制限時間の長さは調節可能です。





JAPANESE

国語

詳しい 活用法動画は こちら！



オススメ活用法

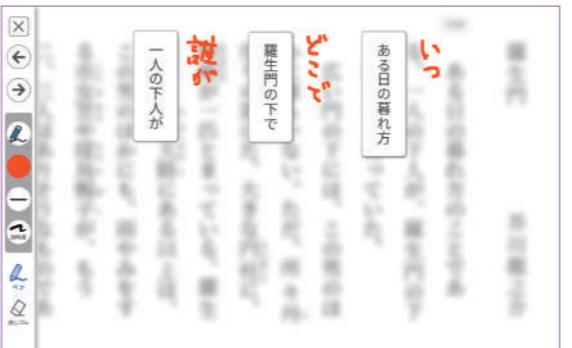
POINT 1 | JAPANESE

挂図

» 先生  授業中

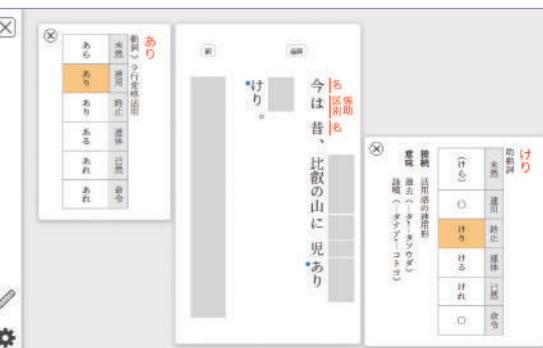
現代文教材

教材本文の抜き出し(カード化)機能を使用します。抜き出した本文中の語句に対して手書きを加えることで、臨場感のある板書作成ができます。



古典教材

フレーズごとの訳文表示機能を利用します。古文では品詞分解と活用表、漢文では書き下し文を表示することで、訳説をスムーズに進めることができます。



POINT 2 | JAPANESE

教材連携

※購入済のデジタル教科書・教材、デジタル副教材で連携ができます。

授業中

家庭学習中

教科書の から、教材に関する国語便覧のページを表示することができます。教材の導入解説などを、国語便覧の記事を利用しながら行っていただくことができます。

教材連携

九訂版 伴永古典文庫

プレミアムカラー実験版

言語文化

始まり

ページ

九訂版 伴永古典文庫

プレミアムカラー実験版

言語文化

始まり

ことばと書き方

品詞

和蘭辞句・むず

ページ



東京都
私立

八王子学園 八王子中学校・ 高等学校

2018年度より、特別教室を含めた全教室に電子黒板機能付きプロジェクタを設置。各教員間で電子黒板のメリットを口コミのように伝えあった結果、現在ではほとんどの教員が電子黒板を活用して授業を行っている。また、教員が自由に使える無線LAN環境が各教室に整備されている。

POINT1 デジタル化で実現する「生徒の顔が見える」授業

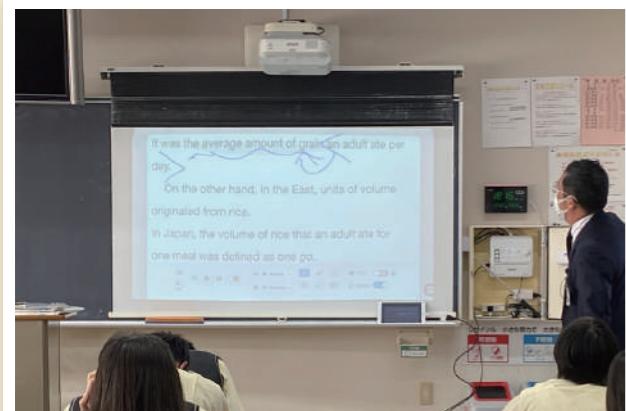
POINT2 視覚資料を通じて生徒の興味や意欲を引き出す

ICT活用事例

SCENE
01

本文指導

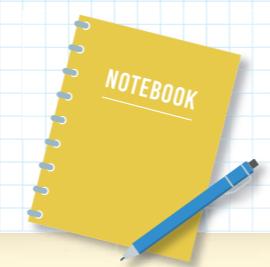
テキストビュー



iPadを電子黒板に有線接続し、教科書本文を「テキストビュー」でスクリーンに投影している。文法事項や補足知識のような書き込みは電子黒板に付属のインタラクティブペンを使う一方で、スクロールなどの基本的な操作は手元のiPadのタッチスクリーンで直感的に行うという使い分けにより、講義のリズムを犠牲にすることなく授業を進めている。

エスピューアに関しては、「テキストビュー」画面で直接クリック（またはタップ）することで音声再生をスタートさせるセンテンスを指定できるなど、直感的に操作可能な点を評価している。また従来は消して書き直す手間を減らすために小さめの文字で板書していた本文テキストを、デジタルでは大きい文字で後ろの席からでも見やすく表示できる点も高評価。パラグラフ構造を分析する時など、文章を俯瞰的に見せたいときに表示を縮小し、その後あらためて拡大状態に戻すといった操作を瞬時に行えるのもデジタル教科書の大きな利点だ。

さらに、レッスン本文の板書が不要になったことで捻出された時間をペアワークなどの活動に割けるようになり、**生徒・教員間および生徒どうしのコミュニケーションに重点をおいた授業**を展開しやすくなった。



« 増田 裕亮 教諭 / 英語コミュニケーション I /

使用しているICT教材・端末



指導者用
デジタル教科書
(教材)
BLUE MARBLE
English Communication I



[iPad]



指導者用



授業動画・詳しいインタビュー内容を公開中！

先生への
インタビュー
6

Q. エスピューアを導入した決め手は?

A. エスピューアはどこを触ったら何ができるのかが直感的にわかり、誰にとっても使いやすいと感じました。マニュアルを読みこんで勉強が必要なことや、使ったために覚えなければいけないことが少なそうだ、という第一印象がよかったです。

Q. 導入の効果は?

A. 授業前の準備の手間や授業中にテキスト本文を板書する手間が省け、時間をより有効に使えるようになりました。対話の時間も増え、生徒が黒板の方を向きやすくなったり、また教員としても生徒の様子や表情を見て対応しやすくなったりすることが非常にありがたいです。

Q. 導入前＆導入したばかりの先生へ

A. いきなり全機能をフル活用しようと無理をするのではなく、スマートスタートで生徒の反応を見ながら様々な機能を段階的に授業に組み入れていくといいです。まずは、レッスン本文のテキストを投影してその上に板書するというところから始めてみてはいかがでしょうか。

SCENE
02

レッスン導入時

スライドショー



各課導入時には「スライドショー」で、レッスンで扱うトピックの紹介を行っている。聴覚だけでなく**視覚を通じてこれから学ぶ内容や背後にいるテーマについてあらかじめ意識づけ**を行うことができ、その後の各パート本文の授業における生徒の理解度や学習姿勢に良い変化が現れたと感じている。

また、英語字幕を表示したり音声のスピードを落としたりして再生することができ、リスニングに自信のない生徒のフォローが容易になった。

SCENE
03

新出語学習

フラッシュカード



「フラッシュカード」で新出語のつづり字と発音記号を表示した状態で音声を再生し、和訳をクラスに問い合わせながら、自動で正解(和訳)が表示されるように設定している。

また、フラッシュカードで学んだ単語の英英データを作成し、インターネット上のクイズ配信サービスで生徒用に公開している。これにより生徒たちが自分のスマートフォンで単語クイズに参加し、スコアを競いあうことができる。**チームを組んで競わせることで、生徒たちは責任感をもって単語学習に取り組むようになった**と感じている。クイズは生徒が作成することもでき、自宅学習などに様々な教科の知識クイズを作成して生徒間で自主的に取り組んでいる場面もあるそうだ。

石川県
私立北陸学院
中学校・
高等学校

ICT活用事例

2014年度より、全教室に電子黒板を設置。全教員がタブレット端末や無線LANを自由に使用できる環境が整備されている。2018年度からは、学習支援アプリを導入。試行錯誤を重ね、2023年度からはさらなる教育アプリの導入により、生徒と教員の双方向コミュニケーションの強化を目指している。

POINT 1

デジタル化で効率的・高密度な授業を実現

POINT 2

充実の機能でもっと「楽しく」、もっと「楽に」

先生への
インタビュー

« 藤田 賢太郎 教諭 / 言語文化 / 指導者用

使用しているICT教材・端末

指導者用
デジタル教科書
(教材)

言語文化



【Windows】



授業動画・詳しいインタビュー内容を公開中!

Q. デジタル教科書の
メリットは?

A. 何と言っても時間が短縮できることです。板書にも一覧性などのメリットはあります。本文を書き写す時間がもったいないと感じていました。電子黒板に本文を投影し、その分の時間を解説や復習にあてることで、より効率的な授業が可能になりました。

Q. 活用について
今後の課題は?

A. 現代文の授業では古典ほど活用が進んでいないので、より有効的な使い方を模索したいです。授業にどの程度取り入れるかは教員それ自体ですが、実際に使用してみて初めて気づく利点も多く、活用している人ともそうでない人とも情報共有が大切だと考えています。

Q. 今後目指したい授業は?

A. 授業時間内で学習内容を定着できる授業です。忙しくて自宅学習の時間を確保できない生徒や、古典にあまり興味がない生徒も着実に力をつけるような授業のメカニズムを作る必要があると考えています。デジタル教材はその実現の一助となると感じています。

SCENE
01

本文指導

掛図



教員用タブレットPCを電子黒板に接続し、掛図機能で本文を投影。本文を音読して注意すべき単語の読みや意味を確認した後、重要な箇所を中心に生徒に問い合わせながら文法事項を確認する。**マスクの部分をタッチするだけで品詞や訳の表示／非表示を切り替えられる**ので、板書をする必要がなく授業のリズムを崩さない。活用表の表示も容易で、画面に出して確認や答え合わせができるので、**生徒の視線を集めたまま解説を行える**。

活用表は助動詞だけでなく、すべての用言について表示される。同時に複数の表を出すこともできるので、例えば「なり」や「ぬ」などが一つのフレーズに複数出てきた場合、表を並べて示しながら識別について解説することも可能。これは紙の書籍では実現できない、デジタルならではの利点だ。

「読みの確認→文法事項の確認→訳の確認」と、**一連の流れを電子黒板上でスムーズに行うことができ、授業をテンポよく進められる**。後で復習してほしい重要事項については板書したり、手元の文法書にマーカーを引かせたりするなど、状況に応じてデジタルと紙を使い分けている。

SCENE
02

授業導入時

映像コンテンツ



授業の導入時には動画を必ず視聴するようにしている。今回はウェブリンクから、NHK for Schoolの『土佐日記』の解説動画を視聴。**生徒の学習意欲を高める**だけでなく、本文だけでは理解しづらい**作品背景や前提知識の理解**に大変役立っており、授業中の問い合わせに対するレスポンスが早くなったと感じている。押さえておきたいポイントについては、教科書のコラムページを電子黒板に投影しながら再度確認。関連事項の参照頁にワンクリックで飛ぶことができるリンク機能は非常に便利で、**授業のリズムを崩すことなくプラスαの解説につなげ**ることができる。

SCENE
03

予習・復習

 テストアプリ

「門出」重要語

1/5

次の言葉の意味として最も適当な
ものを選びなさい。

【いさかかなり】

- ①ほんの少し
- ②退屈しのぎに
- ③詳しく

予習として、教科書紙面のQRコードから「重要語テスト」に取り組ませている。**スマートフォンでさっと確認する**ことができる、**生徒は負担を感じずに課題に取り組める**。教員側としても、課題準備の手間や時間を減らすことができる所以重宝している。授業の最後には、その日の学習内容をプリントなどで復習。最初は何も見ずに、難しい場合は適宜ノートを参考したり、生徒どうしで相談したりしながら取り組んでいる。このように**復習や生徒どうしのコミュニケーションに時間をかける**ことができるのも、デジタル教科書を使用するメリットだと感じている。



現役中高生に聞いてみました！

エスピュアのデジタル教材を使ってみてどうですか？！



GIGAスクール構想による環境整備が進み、高等学校でも1人1台端末を実現している学校が多く見られます。本カタログの取材校で、実際に学習者用デジタル副教材を使用している生徒さんに、アンケートを実施いたしました。

Q1 「紙の書籍」と「デジタル教材」どちらが使いやすいですか？

- ▶ デジタル教材 44%
- ▶ 紙の書籍 40%
- ▶ どちらでもない 16%

(Q1で「デジタル教材」と答えた方に聞きました)

Q2 「デジタル教材の方が使いやすい」と思ったその理由は？

- ▶ 持ち運びに便利 58%
- ▶ 書き込みが簡単 26%
- ▶ 解説動画がある 8%
- ▶ その他 8%

Q3 「デジタル教材」を使って、自分の勉強にプラスになったことがありますか？

- ▶ タブレットさえあれば、いつでもどこでも勉強することができた。
- ▶ 学習時間が増えて、テストの点が上がった。
- ▶ 問題・答・詳解が一気に見られるので、勉強効率があがった。
- ▶ 解説動画があって、効率よく勉強することができた。

Q4 「デジタル教材」は日々の学習の助けになりましたか？

- ▶ とても役に立った 29%
- ▶ 役に立った 54%
- ▶ あまり役に立たなかった 11%
- ▶ 未回答 6%

「デジタル教材」の方が使いやすいと感じている生徒さんがやや多いようです。

「持ち運びに便利」「書き込みが簡単」の他に、エスピュア商品特有の「解説動画がある」「問題の答・詳解がすぐに見られる」という声もありました。

紙の書籍で答え合わせをする際には、問題冊子とは別に解答冊子を開く必要がありますが、学習者用デジタル副教材では、答・詳解の表示・非表示をボタン一つで切り替えることができます。



エスピュアの活用事例ページを新設しました！

本冊子の取材内容は、弊社ホームページからもご覧いただけます。
本冊子に掲載できなかった“先生へのインタビュー記事”も掲載しています。

<https://www.chart.co.jp/software/digital/s/case/>



エスピュア 指導者用・学習者用 デジタル教科書／副教材



購入方法

<https://www.chart.co.jp/software/digital/s/flow/>



数研出版株式会社

[東京本社]
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2丁目3番地3

[関西本社]
〒604-0861 京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町205番地

TEL 075-231-0162 (コールセンター) FAX 075-256-2936

StudyPad[®]、チャート式及びエスピュアは数研出版株式会社の登録商標です。記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。●QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

●本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合があります。●本カタログに掲載されている仕様等は予告なしに変更することがあります。●本カタログの内容は2023年3月現在のものです。先生方の勤務校、役職等も取材時のものです。●本カタログの有効期限:2024年3月31日●返品に関する特約:商品に欠陥のある場合を除き、お客様のご都合による商品の返品・交換はお受けできません。

